

9 世帯の家族類型

～ 核家族世帯・単独世帯
共に増加傾向 ～

世帯の家族類型別世帯数をみると、世帯主と親族関係にある世帯員で構成する「親族世帯」が103,021世帯（一般世帯総数の69.6%）、世帯主と親族関係のある世帯員がいない「非親族世帯」が811世帯（0.5%）、世帯員が1人の「単独世帯」が44,249世帯（29.9%）となっている。

「親族世帯」のうち「核家族世帯」は91,704世帯（61.9%）で、「その他の親族世帯」が11,317世帯（7.6%）となっている。（表9-1）

図9-1 世帯の家族類型別一般世帯数

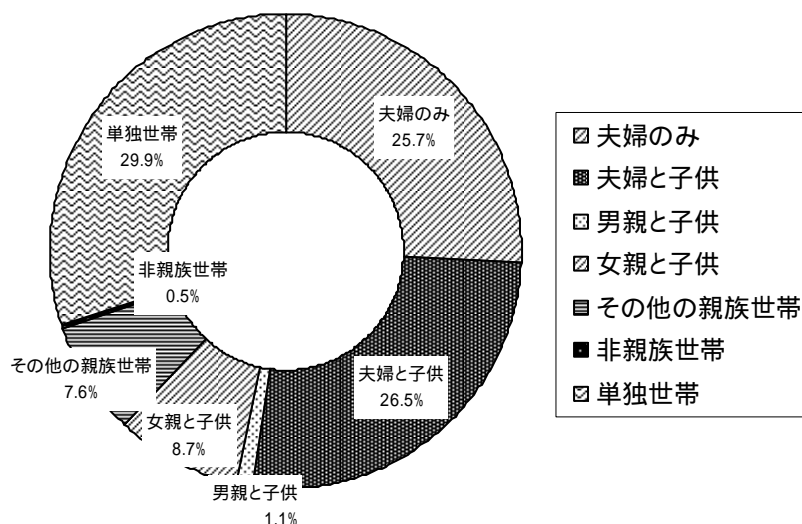


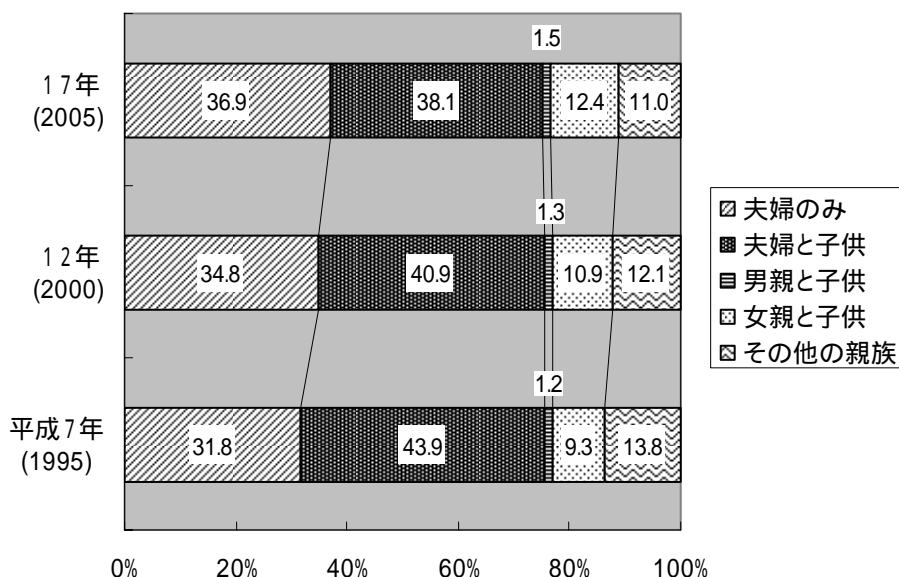
表9-1 世帯の家族類型別一般世帯数の推移

単位：世帯，%

世帯の家族類型	一般世帯数			家族類型別割合			増減率	
	平成7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	平成7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)	平成7年 ～12年	平成12 年～17年
総数	138,023	146,008	148,081	100.0	100.0	100.0	5.8	1.4
親族世帯	101,911	103,794	103,021	73.8	71.1	69.6	1.8	0.7
核家族世帯	87,881	91,215	91,704	63.7	62.5	61.9	3.8	0.5
夫婦のみ	32,392	36,074	38,058	23.5	24.7	25.7	11.4	5.5
夫婦と子供	44,696	42,440	39,241	32.4	29.1	26.5	5.0	7.5
男親と子供	1,265	1,399	1,581	0.9	1.0	1.1	10.6	13.0
女親と子供	9,528	11,302	12,824	6.9	7.7	8.7	18.6	13.5
その他の親族世帯	14,030	12,579	11,317	10.2	8.6	7.6	10.3	10.0
夫婦と両親	586	527	459	0.4	0.4	0.3	10.1	12.9
夫婦と片親	2,442	2,544	2,454	1.8	1.7	1.7	4.2	3.5
夫婦・子供と両親	2,246	1,457	1,061	1.6	1.0	0.7	35.1	27.2
夫婦・子供と片親	5,039	4,261	3,351	3.7	2.9	2.3	15.4	21.4
夫婦と他の親族	358	356	341	0.3	0.2	0.2	0.6	4.2
夫婦・子供と他の親族	858	848	979	0.6	0.6	0.7	1.2	15.4
夫婦・親と他の親族	162	161	157	0.1	0.1	0.1	0.6	2.5
夫婦・子供・親と他の親族	467	381	366	0.3	0.3	0.2	18.4	3.9
兄弟姉妹のみ	536	594	581	0.4	0.4	0.4	10.8	2.2
他に分類されない親族世帯	1,336	1,450	1,568	1.0	1.0	1.1	8.5	8.1
非親族世帯	382	687	811	0.3	0.5	0.5	79.8	18.0
単独世帯	35,730	41,527	44,249	25.9	28.4	29.9	16.2	6.6
三世帯世帯（再掲）		7,983	6,855		5.5	4.6		14.1

親族世帯に占める「核家族世帯」を細かくみても、「夫婦と子供から成る世帯」の39,241世帯(38.1%)が最も多く、次いで、「夫婦のみの世帯」の38,058世帯(36.9%)、「女親と子供から成る世帯」の12,824世帯(12.4%)、「男親と子供から成る世帯」1,581世帯(1.5%)となっている。(図9-2)

図9-2 親族世帯の家族類型別割合の推移



また、「その他の親族世帯」のうち、直系三世帯世帯をみると、平成12年には6,099世帯(4.2%：一般世帯総数に占める割合)だったが、平成17年は4,778世帯(3.2%：同)と1,321世帯の減少となった。そのうち、「夫婦・子供と両親から成る世帯」が平成12年は1,457世帯だったが、平成17年には1,061世帯となり396世帯(27.2%)と大幅に減少している。(表9-1)

注)直系三世帯世帯 = 「夫婦・子供と両親」 + 「夫婦・子供と片親」 + 「夫婦・子供・親と他の親族」

～ 「夫婦と子供から成る世帯」は減少続く ～

平成7年以降の親族世帯の家族類型別割合をみると、「核家族世帯」は平成7年が86.2%、平成12年が87.9%、平成17年が89.0%と着実に割合を増しており、核家族化の進行を裏付ける結果となっている。

この中で、「夫婦のみの世帯」、「女親と子供から成る世帯」、「男親と子供から成る世帯」の占める割合がそれぞれ増加傾向を示しているが、「夫婦と子供から成る世帯」は、平成7年43.9%、平成12年40.9%、平成17年38.1%と減少している。(表9-2)

表9-2 親族世帯の家族類型別割合

単位：%

親族世帯の家族類型	平成7年 (1995)	12年 (2000)	17年 (2005)
親族世帯	100.0	100.0	100.0
核家族世帯	86.2	87.9	89.0
夫婦のみ	31.8	34.8	36.9
夫婦と子供	43.9	40.9	38.1
男親と子供	1.2	1.3	1.5
女親と子供	9.3	10.9	12.4
その他の親族世帯	13.8	12.1	11.0